



# BSR 通信

BSR 推進室ニュースレター第 34 号

平成 29 年 1 月 10 日

発行：大正大学 BSR 推進室

〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨 3-20-1

03-3918-7311 (代)

bsr\_lab@mail.tais.ac.jp

## 夢の記

大正大学 心理社会学部 臨床心理学科  
教授 卯月 研次

### 目次

- 1 頁：巻頭言
- 2 頁：BSR レポート 1
- 3 頁：BSR レポート 2 / さざえ堂だより
- 4 頁：BSR トピックス / 今後の予定

鎌倉時代の僧に明恵（みょうえ）上人（1173-1232）がいます。京都の栴尾にある高山寺が明恵ゆかりの寺として知られています。明恵は、19 歳から亡くなる 1 年前まで、生涯にわたって自分の夢を記録し続けました。この「夢記（ゆめのき）」は、白洲正子や河合隼雄など、多くの識者の注目を集めてきました。白洲正子は、名著「明恵上人」（新潮社）の中で、明恵の夢は「信仰を深めるための原動力なのであって、夢と日常生活が、不思議な形でまじり合い、からみ合っていく様は、複雑な唐草文様でも見るようです。」と表現しています。明恵上人が夢に真剣に向き合

い、夢と現実と信仰を織りなすように大切に夢を扱っていたことが分かります。

私は臨床心理士としてカウンセリングをする中で、夢を聞かせてもらうことがよくあります。心理学で夢というと「夢分析」や「夢の意味を解釈する」ものだと思われるかもしれませんが、私の立場では、夢であっても現実と同じように五感や感情を伴って体験しているのだから、それは生き生きとしたリアルな体験であり、何かの「意味」に還元できるものではないと考えます。たとえば、現実の昨日の夕食場면을思い浮かべてみてください。「楽しかったですか？おいしかったですか？」という問

いはあり得ても、「それ（夕食場面）はどんな意味があるのでしょうか？」という問いは的外れです。夢も、夢の中でその人がどういう体験をしたのかを聞かせてもらいますが、その意味を解釈したりする必要はないと考えています。実際の出来事と同じように、夢の中でどういう場所に行ってどういう体験をしたのかをじっくり聞かせてもらっています。不思議な夢も怖い夢もありますが、明恵上人を見ならって、とりあえずご自分の夢日記をつけ始めてみてはどうでしょうか。

（参考文献）

河合隼雄「明恵 夢を生きる」  
講談社プラスα文庫

## BSR レポート 1

## 大正大学成道会

日本では、12月8日にお釈迦様が成道された（悟りをひらいた）とされ、お釈迦様のご遺徳を讃えて、成道会（じょうどうえ）をお勤めしています。

大正大学では、毎年12月の第1週水曜日に「大正大学成道会」を開催しています。

本学の成道会は、仏教学科社会教化者養成講座の「社会教化演習D」と「サービラーニングⅡ-C」（2科目が同時開講され、仏教学科と他学科の学生が履修できるようになっています）の受講者が中心となって、両科目の担当の工藤量導先生（浄土宗所属）のご指導のもと、企画・運営されています。

今年の成道会のテーマは「仏教×五感」です。

普段、仏教との接点が少ない方々に、五感（眼・耳・鼻・舌・身）に働きかける様々な「体験」をしていただき、それを通じて仏教を身近に感じてもらう内容で開催されました。



【成道会ポスター】

法要に出仕する四宗派の学生僧侶だけではなく大学・地域、そして学科の枠を越えた様々な立場の方に参加してもらい、大学全体が一体となって仏教の魅力を存分に伝えるということをコンセプトとして企画したそうです。

雅楽と法螺貝が響く中、本学設立四宗派の学生僧侶が、巢鴨地蔵通り商店街、庚申塚商店街を通り、本学南門、さざえ堂での法楽を経て大学構内に入り礼拝堂前広場に到りました。ここでは、護摩法を中心に、設立宗派である天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗のそれぞれの特徴を加えた法要を執り行いました。併せて三号館ロビーでは、写真同好会の写真にお釈迦さまの言葉をコラボレーションした作品展も行われました。これらは五感のうち、眼（視覚）・耳（聴覚）への働きかけです。



【お練り行列と法要】



【お釈迦様の言葉を配した写真展示】



鼻（嗅覚）では、上信堂様（東京都板橋区）にご協力いただいた匂い袋づくりのワークショップと華道同好会の献花で会場の三号館が芳しい香りに包まれました。



【匂い袋づくりワークショップ】



【華道同好会いけばな】

また、仏教青年会による甘茶供養、茶道部による抹茶の接待、スジャータにちなんだ「乳粥」、京都の冬の風物詩「大根炊き」がふるまわれ、来場者の舌（味覚）を楽しませました。



【大根炊き】

最後の身（触覚）では、実際に触れることのできる仏像、「なでなで和顔地蔵」（協力：成覚寺様）に触れていただいたり、「ウルトラマン木魚」（協力：都築仏壇店様）を叩いてもらいました。また美術部作成の手作り散華に願いごとを書き込み、それを菩提樹の木に貼り付けるコーナーを設けました。



【なでなで和顔地蔵】



【ウルトラマン木魚】



【美術部の手作り散華】

大正大学らしい催しに来場の方は大満足した様子でしたし、BSR（仏教者の社会的責任）の一端を十分に果たす企画であったと思います。（M）

## BSR レポート 2

## BSR 仏教講座

BSR 推進室では、一般の方々に仏教をより身近なものと感じてもらふこと、大正大学に期待されている仏教に関連する知的欲求を満たすことを目的として、平成 27 年度より「BSR 仏教講座」を実施しています。

大きく分けると「区民ひろば」で行われるものと「オープンカレッジ」の中で行われるものがあります。

区民ひろばは、大正大学がある豊島区内に 26 カ所設置されている公民館のような施設です。今年度は、巣鴨地蔵通り近くにある「区民ひろば清和」（4～6 月；全 3 回）、本学のすぐ近くにある「区民ひろば西巣鴨」（10～11 月；全 3 回）で実施し、これから上池袋にある「区民ひろば豊成」で開催する予定（1～3 月；全 5 回）となっています。

内容は、簡単な瞑想法（数息観）、写経・写仏、腕輪念珠作りといった体験講座と、仏教についての身近な話題の講話です。

区民ひろばは、設置地区、特徴（例えば豊成は元々児童館だったため子どもと母親の利用者が多い等）、運営方法（区民ひろばが主催する場合と運営委員会が主催している場合があります。区民ひろば自体も豊島区が直接運営している所と、NPO 法人に運営を委託している所に分かれます）等が違います。それらを考慮し内容も少しずつ変えながら実施しています。受講者は 20～30 名と仏教への関心の高さが伺えます。

また 1 月から始まる区民ひろば豊成での講座は、仏教学部の教員（林田、塩入両教授）が担当するコマもあり、今後とも仏教学部の先生方にご協力いただく予定です。

次にオープンカレッジで BSR 推進室が担当する講座ですが、昨年度は「瞑想・写経・念仏体験」と「終活」の 2 講座でした。今年度は、「仏教を体験しよう～法話と写経の会～」（10～11 月、全 6 回；間正事務主幹が担当）、「お葬式概論」（1～2 月、全 3 回；小川・高瀬両研究員が担当）の 2 講座です。

では、「法話と写経の会」について報告します。この講座は 35 名に受講いただきました。各回、般若心経・理趣経百字偈・法然上人一枚起請文・観音経を写経し、その後法話を聴いていただきました。



【塩入教授の講座の様子】

なるべく易しい言葉でお話ししようと心がけましたが、1 回目の講座の後に、元さざえ堂のお堂番を務めていた受講生に「言葉の解説が多かった」と率直なご意見をいただきました。「法話」と副題がついた講座ですので、仏さまの教えを「おもしろ、おかしく、時にはしんみり・」話すことを期待していたのだと思います。これは一朝一夕で出来るようになるものではありませんが、2 回目以降は、単なる言葉の解説になることのないよう注意しました。

また、受講生から「講座が終わってそのまま帰るのはもったいない、折角ご縁があって同じ講座をうけた者同士、交流できないか。」とのご意見をいただき、最終回終了後、「茶話会」を開催しました。茶話会では、受講の経緯・理由、感想等を伺うことができましたが、仏教に対する期待は予想以上でした。仏さまの教えを伝えていくということは、まぎれもなく BSR（仏教者の社会的責任）の第一義であると感じました。

今後もこのような機会を活用して一人でも多くの人に仏教を伝え広めなければならないと思うとともに、伝えるスキルを磨かないといけないと感じました。（M）

## さざえ堂だより

## 鴨台さざえ堂初詣

あけましておめでとうございます。

鴨台さざえ堂の新年は、今年も 1 月 1 日から始まりました。

1 月 1 日から 5 日までを「初詣特別期間」として、職員と学生がお堂番（案内係）となり、ご参拝の皆さんをお迎えしました。

また初詣らしさを感じていただこうと、絵馬とおみくじを用意しました。願いが書かれた絵馬は、さざえ堂前広場にある「オクトパスくん」の柵に結んでいただいています。また、おみくじとして用意した「まゆだまみくじ」は宮城県南三陸町で作られているもので、カラフルな繭玉を開けると、その中におみくじが入っています。

観音様は今年も巣鴨の街を見守りくださると思います。

皆さまに快くお参りできるような心がけていく所存です。

本年も、鴨台さざえ堂を宜しくお願い申し上げます。（M）



## BSR トピックス

## 法然上人御忌会 ～報恩講式～

大正大学の設立宗派の一つである浄土宗の宗祖 法然上人は、建暦 2 (1212) 年 1 月 25 日に御歳 80 歳で往生されました。御忌会 (ぎよきえ) は、その法然上人の年回法要です。

昨年度から、大正大学御忌会は浄土宗所属の学生が企画・運営しています。今年は「報恩」をテーマとし、ご来場の皆さんと、本学浄土宗関係の教職員・学生が一体となって、法然上人の御遺徳を偲び報恩感謝のお念仏をお称えしたいとの事です。

また法要に先だって、坊主茶屋 (お茶の接待)、念仏一会体験 (実際にお念仏をお称えます)、一筆南無阿弥陀仏 (六字名号「南無阿弥陀仏」をお書きいただきます)、仏具紹介 (浄土宗で使う仏具を展示します) のコーナーを設けます。皆さまのご来場をお待ちしております。

## ——法然上人御忌会——

開催日

平成 29 年 1 月 18 日 (水)

開催時間

15 時 30 分 開式

(坊主茶屋、念仏一会体験は 14 時から開場)

開催場所

大正大学 礼拝堂

※入場無料・全席自由

企画主催

大正大学杏葉会

協賛

大正大学浄土宗仏教青年会

大正大学浄土学研究室



## 今後の予定

1 月 21 日 (土)	11 時～12 時 9 時～13 時 13 時～15 時	花会式 (真言宗智山派) あさ市 お坊さんカフェ「僧話花」	鴨台観音堂前 南門 けやき広場 3 号館 1 階
2 月 18 日 (土)	11 時～12 時 9 時～13 時 13 時～15 時	花会式 (浄土宗) あさ市 ※埼玉県吉見町産のイチゴを販売します。 お坊さんカフェ「僧話花」	鴨台観音堂前 南門 けやき広場 3 号館 1 階



※BSR 通信は、本学関係宗派の研究機関、仏教系新聞 各社、当該分野関係研究者および本学各学科などに配付しています。また、本学ホームページ「地域・社会貢献、鴨台プロジェクトセンター」の箇所にて公開しています。

## 巻頭言執筆者 紹介

卯月 研次 (うづき けんじ)

大正大学 心理社会学部 臨床心理学科 教授

上智大学 文学部 卒業 上智大学大学院 文学研究科

修士課程 修了 同博士課程 単位取得満期退学

平成 11 年 4 月に大正大学講師着任。同大学 助(准)教授

を経て、平成 23 年 4 月に教授就任。現在、臨床心理学科長。

専門は教育臨床心理学。教育相談や学校カウンセリングなど、教育現場

での臨床心理学的な支援について、カウンセリング的な方法 (言葉

による相談・非言語的なもの等) や、不登校やいじめ、発達障がいなどの

理解、さらに教師のメンタルヘルス、保護者や関連機関との連携など、教

育に係る臨床心理学について幅広い内容で研究している。

## 巻頭写真

新春のさざえ堂